単位の地野と単位数		州工業高	13 151 5 3 1	交 開講年度	₹ 令和04年度 (2	2022年度)	授業科目	国語AI		
	科目基础	礎情報								
調子	科目番号		0017							
部別	授業形態						履修単位:	履修単位: 1		
照相側が起				ゲイン工学科(共通	<u> </u>					
選索 日本						-	·			
別達目標					号)、『言語文化』(筑摩書房)				
1. 漁灣的な支急を為、機能が無限に基づいて漁事を課料し、要約することができる。 2. 文字作金を表力、例に「倫理・位所の関係などを対し、その効果を到すさる。 3. 規設・信号・製性的支援をすび、目の制作できる。 2. 文字作金を表し、人物・信義・位置の関係に関係してしたの 製物が以て薬の関係・原理を立した。			本本 拓	哉						
2. 文字作品を読み、人物・信曹・小師の進身などを味わい。その効果を説明できる。 1. 一プリック 理期的な到達しへいの目安				. ==== + "	A 1- 1 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1					
理想的な到達レベルの目安 存職的に対象の関係・展開を正した関係が、原制を正した理解、表別を表すことができる。	2. 文学	作品を読み、	、人物・情影	景・心情の描写なと	ごを味わい、その効果	ることかできる。 を説明できる。				
#個項目1	ルーブリ	リック								
福岡周日1				理想的な到達	レベルの目安	標準的な到達レベルの	D目安	未到達レベルの目安	₹	
情の推写などを味わい、その効果 大学作品を含み、人物・信果・心 特別・信果・心 技術できる。また 代表的できる。 また 代表的できる。 また 代表的できる。 また 代表的できる。 を実施できる。 また 代表のできる。 を実施できる。 また 代表語・ことから 有力 を変 できる。 対象・信息・心 対象・信息・心 対象・企力できる。 対象・信息・心 対象・信息・ことが ・ 領角のような で 対象・信息・ことが ・ の	評価項目1			く理解し、要約した上で、自分の		論理的な文章の構成・展開を正し く理解し、要約できる。		論理的な文章の構成・展開を理所 、要約することができない。		
解析項目3 無論・ことわざ・信用句などの 別称、計可・所収・の表現を子り 別様、計可・所収・の表現を生り 別様を書加し、自ら創作できる。 別作できる。 別様できる。 図点では現代文 (参考として古文、文文も含け) を説解することで、直接文化に対する場合の企業の。 多向のな根とで表える力を養う。また。 語句子型 ・漢子学習を通して基本的な知識を身につけ、表現力・文章力を高く。 別で表える力を養う。また。 語句子型 ・漢子学習を通して基本的な知識を身につけ、表現力・文章力を高く。 別で表える。 別で表える。 図の学者でる生できる。 とものもまる。 別のできる。 まず類・国語使覧を活用し、 積極的に対断を投げがけてほしい。 図書類・国語使覧を活用し、 積極的に対断を投げがけてほしい。 図書類・国語使覧を活用し、 積極的に対断を投げがけてほしい。 図書類・国語使覧を活用し、 積極的に対断を投げがけてほしい。 図書類・国語を整つると、 ののもまる。 図書類・国語を表わる。 図書類・国語を表わる。 図書類・関語の説明、 国語を学ぶ意義について、 ることができる。 別様を読み、 構成を説明できる。 図地を読み、 構成を説明できる。 図地を読み、 構成を説明できる。 図地を読み、 構成を説明できる。 図地を読み、 構成を説明できる。 第2 第 別様の内容を説明できる。 第2 第 別様の内容を説明できる。 第2 第 別様の内容を説明してきる。 別様の内容を表明にした試験により、 授業内の理解の定義を確認する。 はたり、 図案内は、 別様のの関連を説明できる。 10週 短歌・俳句(2) 一規歌を読むつ	評価項目2			情の描写などを説明できる。 学作品の日本	情の描写などを味わい、その効果 文学作品を説明できる。また、代表的な文 情の描写 学作品の日本文学史上における位 を説明で		の描写などを味わい、その効果		文学作品を読み、人物・情景・心情の描写などの効果を説明できない。	
#	評価項目	3		、熟語・こと	短歌・俳句・現代詩の表現を学び、熟語・ことわざ・慣用句などの 短歌・俳句・エ 創作できる					
教育方法等 社会生活に必要な国語の理解能力・思考力・鑑賞力を養い、心情を豊かにして、言語活動の向上を図ることを目的とす。	学科の	到達目標功	頁目との関	目係						
世会生活に必要な回聴の理解能力・関キ力・経算力を養い、心情を書かにして、言語活動の内上を図ることを目的とする。	学習・教	育到達度目標	票 E① 歴史	・文化・国語・外口	国語を学び、コミュニ	ニケーションするための	基礎的な教養	を身に付ける。		
意要 高。 授業では現代文(参考として古文、漢文古会社)を誘酵することで、言語文化に対する関心を深め、多角的な視点で考える力を養う。また、語の学習・漢字学習を適して基本的な知識を見てつけ、表現か・文章力を居く。 次回学習する甲元を予習してくること。配布するブリント類を整理すること。問いに対して前潔明快な答えで応答すること。 語画類・国語便覧を活用し、積極的に疑問を投げかけてほしい。 受業の属性・尾修上の区分 アクティブラーニング ICT 利用 □ 遠隔授業対応 □ 実務経験のある教員による授 受業計画 □ 授業内容 □ JCT 利用 □ 遠隔授業対応 □ 実務経験のある教員による授 受業計画 □ 授業内容 □ JCT 利用 □ 遠隔授業対応 □ 実務経験のある教員による授 受業計画 □ 関援・内容 □ JCT 利用 □ 遠隔授業対応 □ 実務経験のある教員による授 で考え、を持ちいてきる。 別の目標と観要の説明。国語を学ぶ意義については、へることができる。 3週 随想(2) 一随想を読む① 一 随想を読み、構成を説明できる。 3週 随想(2) 一随想を読む② 一 随想を読み、構成を説明できる。 15は	教育方法	法等								
受業の進め方・方法			社会生活る。授業で考える	舌に必要な国語の理 業では現代文(参考 る力を養う、また	B解能力・思考力・鑑 さとして古文、漢文も 語句学習・漢字学習	賞力を養い、心情を豊 含む)を読解すること を通して其木的な知識	かにして、言語 で、言語文化に を身につけ、表	語活動の向上を図るこ 対する関心を深め、 現力・文章力を磨く	ことを目的とす 多角的な視点	
受業 の属性・履修上の区分 □ PC アクティブラーニング □ ICT 利用 □ 遠隔授業対応 □ 実務経験のある教員による授 受業計画 □ 担業内容 □ 担策内容 □ 週ごとの到達目標 □ ガイダンス □ 短視を読む① - 短視を読む〕 - 短視を読む。 構成を説明できる。 3週 随想(2) - 随想を読む② - 短視を読む。 年者の手承、・信告を正しく読み取り、文章を要約できる。 □ 調解(1) - 阿郷・全読む③ - 原想を読む。 年者の手承、・信告正しく読み取り、文章を要約できる。 □ 評論(2) - 評論文を読む② - 第1段落の内容を説明できる。 □ 評論(2) - 評論文を読む② - 第2 第3 段落の展開を説明できる。 □ 調解(3) - 評論文を読む② - 第2 第3 段落の展開を説明できる。 □ 理論(2) - 評論文を読む② - 第2 (第3 段落の展開を説明できる。 □ できる。 □ 理論(2) - 理論文を読む② - 第2 (第3 段落の展開を説明できる。 □ できる。 □ できる。 □ では、理解し、下論全体を通しての筆者の主張を言明できる。 □ 対理解の定着を確認する。 □ は、原の内容を理解し、不正解だったところはやり直にをして理解の定着を確認する。 □ が理解の定着を確認する。 □ が理解のできる。 □ が理解のできる・近代対象・併句の概要を説明できる。 □ が理解ので着を存品成立について説明できる。 □ が成の内容を理解し、不正解だったところはやり直にをして理解ので着を確認する。 □ がまる。がは、併句の概要を説明できる。 □ がまる。 が、対理の作者と作品成立について説明できる。 □ が、併句(1) - 小説の作者と作品成立について説明できる。 □ 13週 小説(2) - 小説を読む③ - 切歌を読み・相互に鑑賞と評価ができる。 □ 13週 小説(2) - 小説を読む③ - 切歌を読み・相互に鑑賞と評価ができる。 □ 13週 小説(2) - 小説を読む③ - 切歌を読み・相互に鑑賞と評価ができる。 □ 13週 小説(2) - 小説を読む③ - 切歌を読み・知互に鑑賞と評価ができる。 □ 13週 小説(2) - 小説の音読研できる。 □ 15週 小説(4) - 小説の音読み・登場人物の心理と小説の表現。 □ 15週 小説(4) - 小説の音読明できる。 □ 2 3 第2 を読み・登場人物の心理と小説の表現。 □ 15週 小説(4) - 小説の音楽記ので音楽記ので音楽記ので音楽記ので音楽記ので音楽記ので音楽記ので音楽記の	受業の進	め方・方法	次回学習							
② アクティブラーニング □ ICT 利用 □ 遠隔授業対応 □ 実務経験のある教員による授 受業計画 過					ノ、 積極的に疑問を投	げかけてほしい。				
選集	授業の	属性・履何	多上の区分	}		_				
担選 授業内容 週ごとの到達目標 1週 ガイダンス 授業の目標と観要の説明。国語を学ぶ意義について記 べることができる。 2週 随想 (1) - 随想を読む① -	□ アクラ	ティブラーニ	ニング	□ ICT 利用		□ 遠隔授業対応		□ 実務経験のある	教員による授業	
担選 授業内容 週ごとの到達目標 1週 ガイダンス 授業の目標と観要の説明。国語を学ぶ意義について記 べることができる。 2週 随想 (1) - 随想を読む① -										
1週 ガイダンス 授業の目標と概要の説明。国語を学ぶ意義については、	<u> 授業計</u>	画								
1stQ 随想(1) ―随想を読む① ― 随想を読み、構成を説明できる。 随想を読み、筆者の主張・感じ方を説明できる。 1stQ 随想(2) ―随想を読む② ―			週	授業内容			との到達目標			
2週 随想(1)一随想を読む①一 随想を読み、籍者の主張・感じ方を説明できる。 18世紀 18世			1週	ガイダンス						
1stQ 1stQ						授業	の目標と概要の	の説明。国語を学ぶ意	意義について过	
1stQ 随想(3) - 随想を読む③ - 第者の考え、心情を正しく読み取り、文章を要約できる。 5週 評論(1) - 評論文を読む① - 評論文を読む① -					目をきれる	べる	ことができる。		意義について述	
1stQ 一						べる 随想	ことができる。 を読み、構成 ^を	を説明できる。		
お面に			3週	随想(2)一随机	見を読む②ー	べる 随想 随想	ことができる。 を読み、構成 ^を を読み、筆者の	を説明できる。 の主張・感じ方を説明	月できる。	
1 日本			3週	随想(2)一随机	見を読む②ー	べる 随想 随想 筆者	ことができる。 を読み、構成 ^を を読み、筆者の	を説明できる。 の主張・感じ方を説明	月できる。	
7週 評論 (3) -評論文を読む③-		1stQ	3週4週	随想(2)—随机	思を読む②— 思を読む③—	べる 随想 随想 筆者 る。 評論	ことができる。 を読み、構成? を読み、筆者の の考え、心情?	を説明できる。 の主張・感じ方を説明 を正しく読み取り、3 要約できる。	月できる。	
別別		1stQ	3週 4週 5週	随想(2)—随机 随想(3)—随机 評論(1)—評詞	思を読む②— 見を読む③— 倫文を読む①—	べる 随想 随想 筆者 る。 評論 第1	ことができる。 を読み、構成。 を読み、筆者の の考え、心情。 全体を読み、 段落の内容を	を説明できる。 の主張・感じ方を説明 を正しく読み取り、3 要約できる。 说明できる。	月できる。	
10週 知歌・俳句(1) - 短歌を読む① 記験の内容を理解し、不正解だったところはやり直しをして理解する。 10週 短歌・俳句(2) - 短歌を読む② - 作品の鑑賞・読解を述べることができる。 11週 短歌・俳句(3) - 短歌を詠む - 短歌を詠み・相互に鑑賞と評価ができる。 12週 小説(1) - 小説を読む① - 小説の作者と作品成立について説明できる。 13週 小説(2) - 小説を読む② - 小説の第1段落を読み時間、空間、人物について説明できる。 14週 小説(3) - 小説を読む② - 小説の第1段落を読み時間、空間、人物について説明できる。 15週 小説(4) - 小説を読む③ - 第2~3段落を読み、登場人物の心理と小説の表現を記しまままままままままままままままままままままままままままままままままままま		1stQ	3週 4週 5週 6週	随想(2)—随机 随想(3)—随机 評論(1)—評詞 評論(2)—評詞	思を読む②一 思を読む③一 倫文を読む①一 倫文を読む②一	べる 随想 題 筆 る。 評論 第1	ことができる。 を読み、構成。 を読み、筆者の の考え、心情。 全体を読み、 段落の内容を ,第3段落の	を説明できる。 の主張・感じ方を説明 を正しく読み取り、が 要約できる。 説明できる。 展開を説明できる。	月できる。 文章を要約でき	
2ndQ 短歌・俳句(1) 一短歌を読む①一		1stQ	3週 4週 5週 6週	随想(2)—随机 随想(3)—随机 評論(1)—評詞 評論(2)—評詞	思を読む②一 思を読む③一 倫文を読む①一 倫文を読む②一	べる 随想 筆者 る。 評論 第1 第2 第4	ことができる。 を読み、構成。 を読み、筆者の の考え、心情。 全体を読み、 段落の内容を ,第3段落の 段落を読み、 段落を読み、	を説明できる。 の主張・感じ方を説明 を正しく読み取り、が 要約できる。 説明できる。 展開を説明できる。	月できる。 文章を要約でき	
11週 短歌・俳句(3) 一短歌を詠む一 短歌を詠み・相互に鑑賞と評価ができる。	前期	1stQ	3週 4週 5週 6週 7週	随想(2)—随机 随想(3)—随机 評論(1)—評詞 評論(2)—評詞 評論(3)—評詞	思を読む②一 思を読む③一 倫文を読む①一 倫文を読む②一	べる 随 随 題 章 る 評 第 1 第 2 第 9 4 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	ことができる。 を読み、構成。 を読み、単者のの考え、心情。 全体をあり、 段落の内容のの 段落る。 7週までの内容 解の定着を確	を説明できる。 の主張・感じ方を説明 を正しく読み取り、 を正しく読み取り、 要約できる。 現開を説明できる。 平論全体を通しての領 なを網羅した試験に のなする。	月できる。 文章を要約でき 章者の主張を記 より、授業内容	
2ndQ 12週 小説(1) -小説を読む①-	前期	1stQ	3週 4週 5週 6週 7週 8週	随想(2)—随然 随想(3)—随然 評論(1)—評論 評論(2)—評語 評論(3)—評語	思を読む②一 思を読む③一 倫文を読む①一 倫文を読む②一 倫文を読む③一	べる 随想 筆る 評第1 第 2 第 9 1 の 試験し	ことができる。を読み、権力を読み、筆者できる。を読み、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を説明できる。 の主張・感じ方を説明を正しく読み取り、多要約できる。 説明できる。 展開を説明できる。 展開を説明できる。 容を網羅した試験によるする。	月できる。 文章を要約でき 章者の主張を記 より、授業内容	
2ndQ	前期	1stQ	3週 4週 5週 6週 7週 8週	随想(2) 一随が 随想(3) 一随が 評論(1) 一評論 評論(2) 一評語 評論(3) 一評語 中間試験 短歌・俳句(1)	思を読む②一 思を読む③一 全文を読む①一 会文を読む②一 会文を読む③一	べる 随想 筆る 評第1 第2 第4で 1の 理験し代	ことができる。 を読み、構成 を読み、心情を読み、心考え、心情を の考え、心情を 全体を内内容の り、第3段落の り、第3段落る。 の内解のでを の内確 の内確解 のて理歌・俳句の	を説明できる。 の主張・感じ方を説明を正しく読み取り、文明できる。 説明できる。 展開を説明できる。 展開を説明できる。 平論全体を通しての領容を網羅した試験によるする。 し、不正解だったとこ 既要を説明できる。	月できる。 文章を要約でき を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	
13週 小説 (2) -小説を読む②- できる。 14週 小説 (3) -小説を読む③- 第2~3段落を読み、登場人物の心理と小説の表現を記してきる。 15週 小説 (4) -小説を読む④- 第3~4段落を読み、小説の主題を説明できる。 16週 定期試験 9~14週までの内容を網羅した試験により、授業をの理解の定着を図る。 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	前期	1stQ	3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	随想(2) 一随然 随想(3) 一随然 評論(1) 一評論 評論(2) 一評語 評論(3) 一評語 中間試験 短歌・俳句(1)	思を読む②一 思を読む③一 全文を読む①一 会文を読む②一 会文を読む③一 一短歌を読む①ー	べる 随地 筆る。 評第 第 第 第 9 4 で の 試を近代 作品	ことができる。を読み、、本語のできる。を読み、、本語のできる。を読み、、本語のできる。を表の、のでできる。を表の、のでできる。を表の、のでできる。できる。を表ののでできる。できる。できる。できる。できるのででは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、	を説明できる。 か主張・感じ方を説明できる。 か主張・感じ方を説明を正しく読み取り、な要約できる。 展開を説明できる。 理論全体を通しての領容を網羅した試験による。 し、不正解だったとる 既要を説明できる。 既要を説明できる。 を述べることができる。	月できる。 文章を要約でき を書の主張を訪 より、授業内を ころはやり直し る。 る。	
14週 小説 (3) -小説を読む③- 提え説明できる。 15週 小説 (4) -小説を読む④- 第3~4段落を読み、小説の主題を説明できる。 16週 定期試験 9~1 4週までの内容を網羅した試験により、授業F容の理解の定着を図る。 16週 定期試験 9~1 4週までの内容を網羅した試験により、授業F容の理解の定着を図る。 16週 文型内容と到達目標 分野 学習内容の到達目標 分野 学習内容の到達目標 一般で表します。 一般で表します。 一般で表します。 1	前期		3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	随想(2) — 随然 随想(3) — 随然 评論(1) — 評談 评論(2) — 評談 评論(3) — 評談 中間試験 短歌・俳句(1) 短歌・俳句(2) 短歌・俳句(3)	限を読む②一 見を読む③一 全文を読む①一 会文を読む②一 会文を読む③一 一短歌を読む①ー 一短歌を読む②ー 一短歌を読む②ー	べる 随地 筆る 評第 第 第 第 第 1 2 第 明 1 の 試を近 作 品 歌 小 訴	ことができる。を読み、「を読み、「を読み、「を読み、「を読み、「を読み、「を読み、「を読み、「	を説明できる。 か主張・感じ方を説明を正しく読み取り、 を正しく読み取り、 を所してきる。 の	月できる。 文章を要約でき を書の主張を記 より、授業内容 ころはやり直し る。 る。 きる。	
15週 小説(4) -小説を読む④- 第3~4段落を読み、小説の主題を説明できる。 16週 定期試験	前期		3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	随想(2) — 随热 随想(3) — 随热 (1) — 評論 (1) — 評論 評論 (2) — 評語 评論 (3) — 評語 中間試験 短歌・俳句(1) 短歌・俳句(2) 短歌・俳句(3) 小説(1) — 小語	思を読む②一 思を読む③一 無文を読む①一 無文を読む②一 無文を読む③一 一短歌を読む①ー 一短歌を読む②ー 一短歌を読む②ー	べる 随地 筆る 評第 第 第 第 1 2 第 明 1 の 試を近 作 伝 弱 い 小で	こと読み、 な読み、 を読み、 を読み、 を読み、 を読み、 を読み、 を読み、 できる。 を表する。 なって短いできる。 またできる。 またできる。 またできる。 またでは、 のでをできる。 またででは、 できる。 またでは、 できる。 またでは、 できる。 またでは、 できる。 またでは、 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	を説明できる。 か主張・感じ方を説明を正しく読み取り、 を正しく読み取り、 を所したきる。 の	月できる。 文章を要約でき を を 者の主張を訪 より、授業内容 ころはやり直し る。 る。 きる。 かについて説明	
16週 定期試験 9~1 4週までの内容を網羅した試験により、授業を容の理解の定着を図る。	前期		3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週	随想(2) — 随热 随想(3) — 随热 (1) — 评额 评論(2) — 评额 评論(3) — 评额 中間試験 短歌・俳句(1) 短歌・俳句(2) 短歌・俳句(3) 小说(1) — 小部 小说(2) — 小部	思を読む②一 思を読む③一 無文を読む①一 論文を読む②一 論文を読む③一 一短歌を読む①ー 一短歌を読む②ー 一短歌を読む②ー 一短歌を読む〇一 がを読む①一	べる 随 り り り り り り り り り り り り り り り り り り	こを読み、 を読み、 を読み、 を読み、 を読み、 を読み、 できる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 まで、 のでをできる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	を説明できる。 か主張・感じ方を説明を正しく読み取り、 を正しく読み取り、 を所したきる。 の	月できる。 文章を要約でき を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	
Tebus Le Hillian Le Hillian Pao理解の定着を図る。	前期		3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週	随想(2) — 随热 随想(3) — 随热 随想(3) — 随热 評論(1) — 評語 評論(2) — 評語 評論(3) — 評語 中間試験 短歌・俳句(1) 短歌・俳句(2) 短歌・俳句(3) 小説(1) — 小記 小説(2) — 小記 小説(3) — 小記	思を読む②一 思を読む③一 無文を読む①一 無文を読む②一 無文を読む③一 一短歌を読む①ー 一短歌を読む②ー 一短歌を詠む一 党を読む①ー がを読む②一	べる 随 り り り り り り り り り り り り り り り り り り	こを読み、 全段 , 段き 7解のて短のを のる ~ 説明を である。 まで 大きの 、 で 大きの 、 で 大きの ので で ののる で 説明で は いきの で ののる で いきの で ののる で 説明で は いきの で で いきの で で いきの	を説明できる。 の主張・感じ方を説明を正しく読み取り、文明できる。 の主張・感じ方を説明を正しく読み取り、文明のできる。 展開を説明できる。 展開を説明できる。 を本網羅した試験による。 の本のできる。 の本のできる。 の本のできる。 の本のできる。 の本のできる。 の本のできる。 の本のできる。 の本のできる。 のまる。 の本のできる。 のまる。 の本のできる。 のまる。 のまる。 のまる。 のまる。 のまる。 のまる。 のまる。 のま	月できる。 文章を要約でき 文章を要約でき を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	
分類	前期		3週 4週 5週 6週 7週 8週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	随想(2) — 随热	思を読む②一 思を読む③一 無文を読む①一 無文を読む②一 無文を読む③一 一短歌を読む①ー 一短歌を読む②ー 一短歌を詠む一 党を読む①ー がを読む②一	べ 随 想 者。 評第 第 第 第 第 第 第 第 第 1 の 試を近 作 短 小 小で 第 捉 第 第 第 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	こをある。をののでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、	を説明できる。 か主張・感じ方を説明を正しく読み取り、 を正しく読み取り、 を正しく読み取り、 を説明できる。 展開を説明できる。 展開を説明できる。 不評論全体を通した試験にあるする。 不正解だったとる と述べ賞と評価ができる。 を述べば買ついて説明できる。 たが、登場人物の心理と ない、小説の主題を説明	月できる。 文章を要約でき を書の主張を訪 より、授業内容 ころはやり直し る。 る。 きる。 かについて説明 と小説の表現を 月できる。	
	前期		3週 4週 5週 6週 7週 8週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	随想(2) — 随热	思を読む②一 思を読む③一 無文を読む①一 無文を読む②一 無文を読む③一 一短歌を読む①ー 一短歌を読む②ー 一短歌を詠む一 党を読む①ー がを読む②一	べ 随 想 者。 随 題 者。 評第 第 第明 1 の 試を近 作 短 小 小で 第 提 第 9 ~	こをで、全段、段きつ解のて短のをののる〜説〜と読み、、読内段きの内理歌鑑詠作第一段でで、またのの名でで、一次である。またで、「一次でで、「一次でで、「一次でで、「一次でで、「一次でで、」、「一次では、「一次でで、」、「一次では、「一次では、「一次でで、」、「一次では、「)」では、「一次では、「)」では、「一次では、「一次では、「一次では、「一次では、「一次では、「一次では、「一次では、「一次では、「一次では、「一次では、「一次では、「一次では、「一次では、「一次では、「一次では、「一次では、「)では、「一次では、「)では、「)では、「)では、「)では、「)では、「)では、「)では、「)	を説明できる。 か主張・感じ方を説明を正しく読み取り、 を正しく読み取り、 を正しく読み取り、 を見れてきる。 展開を説明できる。 展開を説明できる。 展開を経るした試験に を容る、不正解だったとる。 と述べらといてきる。 を述述についてきる。 を述述について説明、人物の、登場人物の心理と ない、小説の主題を説明 ないないないないない。	月できる。 文章を要約でき を書の主張を訪 より、授業内容 ころはやり直し る。 る。 きる。 かについて説明 と小説の表現を 月できる。	
基礎的能力 人文・社会 国語 国語 声る。 1 7 17 18 19 19 19 19 19 19 19		2ndQ	3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 14週 15週 16週	随想(2) — 随热 随想(3) — 随热 随想(3) — 随热 评論(1) — 評語 評論(3) — 評語 中間試験 短歌・俳句(1) 短歌・俳句(2) 短歌・俳句(3) 小説(1) — 小語 小説(2) — 小語 小説(3) — 小語 小説(4) — 小語 定期試験	思を読む②一 思を読む③一 論文を読む①一 論文を読む②一 論文を読む③一 一短歌を読む①ー 一短歌を読む②ー 一短歌を詠む一 党を読む①ー 党を読む②ー	べ 随 想 者。 随 題 者。 評第 第 第明 1 の 試を近 作 短 小 小で 第 提 第 9 ~	こをで、全段、段きつ解のて短のをののる〜説〜と読み、、読内段きの内理歌鑑詠作第一段でで、またのの名でで、一次である。またで、「一次でで、「一次でで、「一次でで、「一次でで、「一次でで、」、「一次では、「一次でで、」、「一次では、「一次では、「一次でで、」、「一次では、「)」では、「一次では、「)」では、「一次では、「一次では、「一次では、「一次では、「一次では、「一次では、「一次では、「一次では、「一次では、「一次では、「一次では、「一次では、「一次では、「一次では、「一次では、「一次では、「)では、「一次では、「)では、「)では、「)では、「)では、「)では、「)では、「)では、「)	を説明できる。 か主張・感じ方を説明を正しく読み取り、 を正しく読み取り、 を正しく読み取り、 を見れてきる。 展開を説明できる。 展開を説明できる。 展開を経るした試験に を容る、不正解だったとる。 と述べらといてきる。 を述述についてきる。 を述述について説明、人物の、登場人物の心理と ない、小説の主題を説明 ないないないないない。	月できる。 文章を要約でき を書の主張を診 より、授業内容 ころはやり直し る。 る。 きる。 かについて説明 と小説の表現を 月できる。	
	モデル <u>:</u>	2ndQ	3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	随想(2) 一随然	思を読む②一 思を読む③一 無文を読む①一 論文を読む②一 論文を読む③一 一短歌を読む②ー 一短歌を読む②ー 一短歌を読む②ー 一短歌を読む②ー がを読む②ー がを読む②ー がを読む③ー 逆を読む③ー	べる 随を 章る 評第第第第第 第第明1 2 第第明1 0 試を近作品 歌 訓訪 う容 の で 第足 第第第 第 第 第 第 第 第 の の の の の の の の の の	こををの全段,段き7解のて短のをののる〜説〜1理と読みまで、株落の3をの内理歌鑑詠作第3明4年がから、、読み客落のの内理歌鑑詠作第3明4年のの3では、ないのででは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、な	を説明できる。 の主張・感じ方を説明を正しく読み取り、対理を正しく読み取り、対理を説明できる。 展開を説明できる。 展開を説明できる。 を開をが明できる。 を対象する。 の事を網羅した試験にある。 を述べるといてきる。 を述べるといてきる。 を述べるといてきる。 を述べるといてきる。 を述べるといてきる。 をがいたといる。 を述べるといいできる。 をがいた。 の事を説明できる。 をがいた。 の事を説明にある。 を述べるといいできる。 を述べるといいできる。 を述べるといいできる。 を述べるといいできる。 を述べるといいできる。 を述べるといいできる。 を述べるといいできる。 を述べるといいできる。 のまるといいできる。 のまるといいています。 を述べるといいできる。 のまるといいています。 のまるといいではないます。 のまるといいないないます。 のまるといいないないないます。 のまるといいないます。 のまるといいないないないます。 の	月できる。 文章を要約でき を書の主張を訪 より、授業内容 ころはやり直し る。 る。 かについて説明 と小説の表現を 月できる。 こより、授業内	
	分類	2ndQ コアカリ=	3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 7野	随想(2) 一随然	思を読む②一 思を読む③一 無文を読む①一 論文を読む②一 論文を読む③一 一短歌を読む②ー 一短歌を読む②ー 一短歌を読む②ー 一短歌を読む②ー 一短歌を読む〇ー 党を読む②ー 党を読む③ー 党を読む③ー	べる 随地 筆る 評第12 第明1 9 第明1 1 の 試を近代 作短 場 小小で 第足 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 次 5 第 月 8 第 月 8 第 月 8 第 月 8 第 月 8 8 8 8 8 8	こををの全段,段き7解のて短のをののる~説~1理的で、、、、 はいのでは、 で、	を説明できる。 の主張・感じ方を説明を正しく読み取り、 を正しく読み取り、 を正しく読み取り、 を開を説明できる。 展開を説明できる。 展開を紹羅した試験にある。 をなる。 を認ってができる。 を認ってができる。 を認ってができる。 を認ってができる。 を認っていたが明だったとる。 を述べらないできる。 を述べらないできる。 を述べられて説明できる。 をがいた。 をいたのは、 ないたのでは、 ないたのでは、 ないたのでは、 ない、 ない、 ない、 ない、 ない、 ない、 ない、 ない、 ない、 ない	月できる。 文章を要約でき を書の主張を訪 より、授業内容 ころはやり直し る。 る。 かについて説明 と小説の表現を 月できる。 により、授業内容	

,							
				文学的な文章(小説や随筆)に即して読み取り、自分の意見	「描かれた人物やものの見方を 見を述べることができる。	表現に 1	前2,前3,前 4
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。			前2,前3,前 4,前5,前 6,前7
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。			前2,前3,前 4,前5,前 6,前7
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。			前2,前3,前 4,前5,前 6,前7
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。			前2,前3,前 4,前5,前 6,前7
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。			
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な 情報を収集できる。			前5,前6,前 7
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。			前5,前6,前
				報告・論文を、整理した情報 ように論理の構成や展開を3	Bを基にして、主張が効果的に L夫し、作成することができる	伝わる 1	前5,前6,前 7
					らよび自分の思いや考えを、的		前5,前6,前 7
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。			前5,前6,前 7
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思い や考えをまとめることができる。			前5,前6,前 7
						を整理 1	前5,前6,前 7
				日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。			
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で 正しい文章を記述できる。			前11,前15
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。			前11,前15
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。			前11,前15
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディーランゲージなど)。			前11,前15
				他者の意見を聞き合意形成することができる。			前11,前15
分野横断的	汎用的技能	汎用的技能	 汎用的技能	合意形成のために会話を成立	Zさせることができる。	1	前11,前15
能力				グループワーク、ワークショ 践できる。	ョップ等の特定の合意形成の方	法を実 1	前11,前15
				収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情 報を選択できる。			前11,前15
				収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要が あることを知っている。			前11,前15
				情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。			前11,前15
				目的や対象者に応じて適切な信(プレゼンテーション)でき	ジツールや手法を用いて正しく きる。	【情報発 1	前11,前15
評価割合							
		試験		小テスト	演習・レポート	合計	
総合評価割合	<u> </u>	70		10	20	100	
基礎的能力		50		10	20	80	
専門的能力		20		0	0	20	
分野横断的能	 kh	0		0	0	0	